

平成26年3月25日

## キャリア教育支援資料 「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」パンフレット ー学習意欲の向上を促すキャリア教育ーについて

このたび、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターにおいて、キャリア教育の更なる推進・充実に資するため、標記の新資料を作成し、全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会に配付することになりましたので、お知らせいたします。

### 1. 趣旨

この支援資料は、キャリア教育や進路指導に関する実態を把握するとともに、今後の各学校におけるキャリア教育・進路指導の改善・充実に資するための基礎資料を得ることを目的とした「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の結果を踏まえ、全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会を対象として作成したものです。

特にこの支援資料では、キャリア教育が児童生徒の「学習意欲」の向上を促すという点について、データや事例を用いてわかりやすく紹介、解説しました。

### 2. 主な内容と特徴（詳細は別紙参照）

- ・ キャリア教育は、小学校、中学校、高等学校のいずれにおいても学習意欲の向上を促す。(P2, 3)
  - 小学校では、児童の「学習意欲」の向上が見られる学校ほど、学級担任が積極的にキャリア教育の取組を進めている。(P4)
  - 中学校では、キャリア教育を全校的に推進することによって、生徒の「学習意欲」は向上する。(P6)
  - 高等学校では、生徒の「学習意欲」の向上が見られる学校ほど、「体系的・系統的なキャリア教育」の計画及び実践を進めている。(P8)

### 3. その他

各都道府県・政令指定都市教育委員会及び各小学校、中学校、高等学校に送付し、併せて本研究所ホームページに掲載します。

【研究所ホームページ URL】 <http://www.nier.go.jp/>

(お問い合わせ)

国立教育政策研究所

生徒指導・進路指導研究センター総括研究官	長田 徹	電話：03-6733-6735
生徒指導・進路指導研究センター研究員	立石 慎治	電話：03-6733-6883
生徒指導・進路指導研究センター企画課長	人見 達也	電話：03-6733-6879
生徒指導・進路指導研究センター企画課指導係長	田中 曜子	電話：03-6733-6882
【広報担当】企画普及室普及・国際係長	飯塚 昭義	電話：03-6733-6812

## キャリア教育支援資料「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」パンフレット —学習意欲の向上を促すキャリア教育—

### ■ 本資料の位置付け

本支援資料は、これまでも学校現場において関心が高かった、キャリア教育の充実と児童生徒の「学習意欲」の向上の関係性について、実態を紹介し解説を加えたものです。キャリア教育の更なる推進と充実を図ることを目指して作成されました。

「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」データの分析結果を基に、小学校、中学校、高等学校の学校種別に、「学習意欲」の向上につながるキャリア教育の取組ポイントをまとめています。

学校や地域でのキャリア教育を振り返り改善する際や、キャリア教育の全体計画や年間指導計画を作成する際などに活用いただきたい資料です。

### ■ 概要

#### pp. 2-3 現在の学習、そして将来にとって重要なキャリア教育

充実した計画に基づいたキャリア教育が、児童生徒の学習意欲の向上を促すことを解説しています。

また、卒業後の進路といった近い将来のことだけでなく、遠い将来のことも意識したキャリア教育が重要であり、児童生徒や保護者もそれを望んでいることをデータから示しています。

#### pp. 4-5 小学校でのキャリア教育

小学校では、児童の学習意欲の向上が見られる学校ほど、学級担任が積極的にキャリア教育の取組を進めていることを示しています。

また、キャリア教育の教育課程への位置付けが進み、教育課程内でのキャリア教育の実施状況が高まってきていることを解説しています。

#### pp. 6-7 中学校でのキャリア教育

中学校では、キャリア教育を全校的に推進していることによって、生徒の学習意欲は向上することを示しています。

また、日々の授業や課外活動、係活動・委員会活動などが「将来の生き方や進路を考える上で役に立っていた」ことから、日々の活動でキャリア教育を進めることについて解説しています。

#### pp. 8-11 高等学校でのキャリア教育

高等学校では、生徒の学習意欲の向上が見られる学校ほど、「体系的・系統的なキャリア教育」の計画及び実践を進めていることについて解説しています。特に、学科別では下記の取組にポイントがあります。

- ・普通科：保護者や社会人などとの協働や、キャリア教育実施についての評価
- ・専門学科：時間の確保、教員間や保護者との協働
- ・総合学科：教員の情報力や指導力、キャリア教育実施についての評価

また、普及しつつあるインターンシップを更に効果的に進めるためには、事前・事後指導と合わせて行うことで、より学習意欲の向上につながることを解説しています。

#### pp. 12-16 Q&A ～先生方の疑問にお答えします～

全体計画の効果、体験活動の効果、校内研修の現状、評価の現状、キャリア・カウンセリングの効果とそれぞれのポイントについて、それぞれ Q&A 形式で解説しています。